



二宮郷土芸能保存会

【豊頃町】

はじまりは？

豊頃町指定文化財である伝統芸能の二宮獅子舞神楽を保存し、報徳二宮神社祭に獅子舞を行い、五穀豊穡、万民安全を祈願します。

二宮獅子舞神楽の保存・継承により、本町の心の礎と言える「報徳のおしえ」や伝統を守りつなげます。

報徳のおしえ

おもな活動



二宮獅子舞の練習の様子

獅子舞神楽は、大正9年に報徳二宮神社が新築された際、旧今市町(現:日光市)より御分霊を鎮座するのに合わせて披露されたときに始まり、以来約90年間、二宮地区に伝えられています。

昭和38年に、二宮郷土芸能保存会が設立し、伝えています。現在、五代目が継承しています。

五代目の会員は、20代～30代前半の全員農家の後継者で構成されています。

町の文化祭、記念行事がある毎に獅子舞を披露しています。

ここが自慢

【大正時代から引き継がれる舞】

報徳二宮神社祭時は、奉納後「なおい」をして、収穫・慰労会を開き、地域交流の場となっています。

二宮獅子舞神楽の保存と継承を守るとともに尊親の変遷や報徳のおしえを伝えるビデオを制作中であり、これを広めて町づくりに活かしたい。

報徳の全国的なつながりを活かした観光の取り組みを考えています。



二宮獅子舞の様子

データ

■代表者:青田恵一さん／設立:1963年／会員:15名

■連絡先:中川郡豊頃町二宮5230-2

■電話:015-574-3152

■FAX:015-572-3152